



女神様からのお願い

PUELLA MAGI MADOKA MAGICA FANBOOK.



はじめまして、こんにちは。ナナセミオリです。
今回は杏子中心の少しシリアスなオールキャラ本になりました。
本文では普段描いたことのない戦闘シーンなどもあり、
苦戦しつつも、新しくチャレンジだー!と意気込んで描いてみました(〜)
そんなわけで、未熟な点多いとは思いますが、
勇気が出まくって伝わってくれると良いです!
ではでは、前書きはこのへんで〜

2011.12. ナナセミオリ

『女神様からのお願い』
ストーリー:コキリン 漫画:ナナセミオリ



でもこんなに魔獣が多いと回復している余裕がないわ

かといって

回復を引き伸ばして3人の魔力が同じタイミングで尽きちゃっても困る

ならば

回復を順番に回しタイミングが被らないようにしましょ

わかったわ

了解

ひとりが回復している間にふたりで抑える

じゃあ申し訳ないけど先に回復すましちゃうわね

わかったわでは私はマミの援護にまわる

だけどよ本当に今日はなんなんだよ

沸き方が尋常じゃねえ

あ



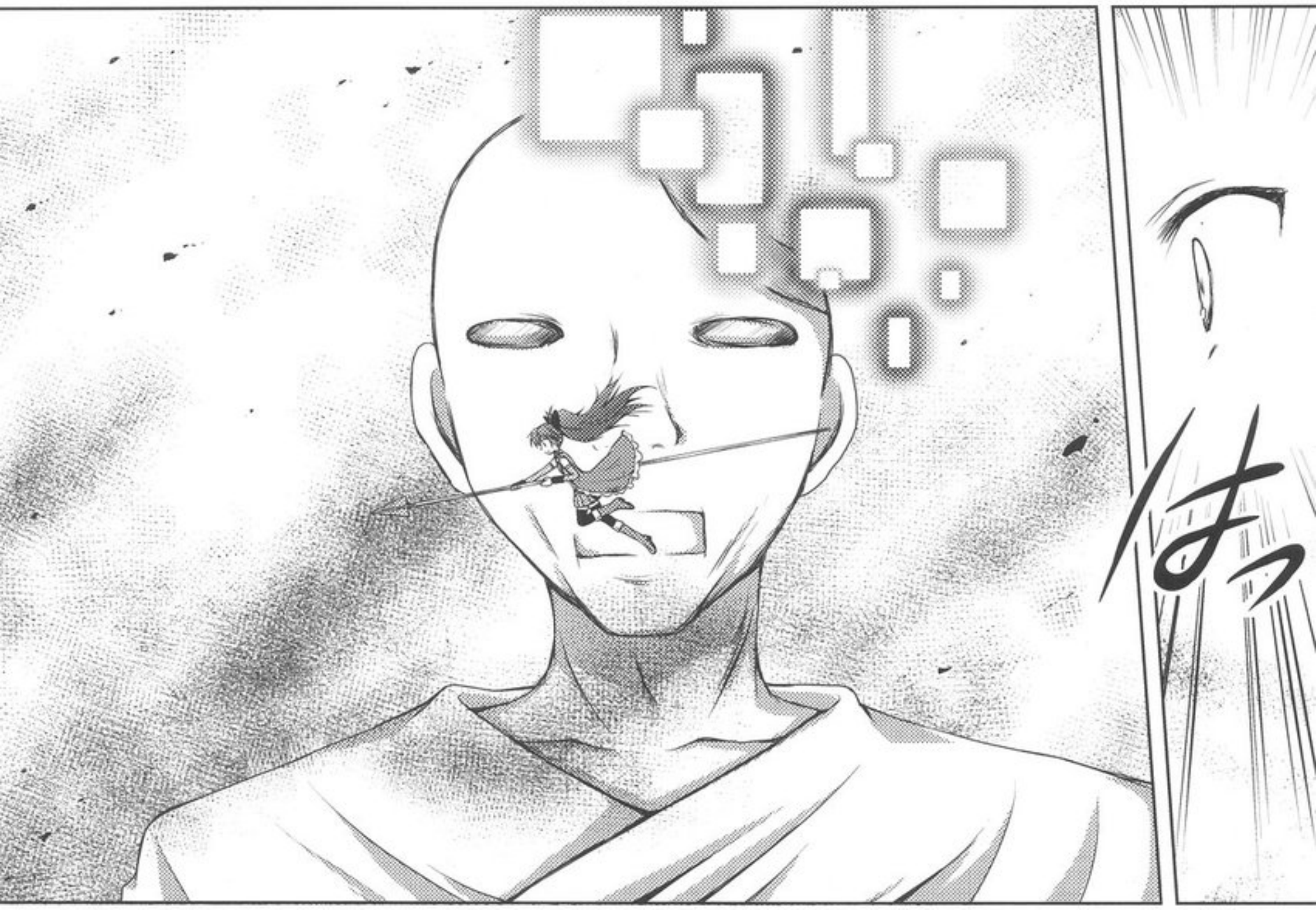
きりがねえぜ

くっ

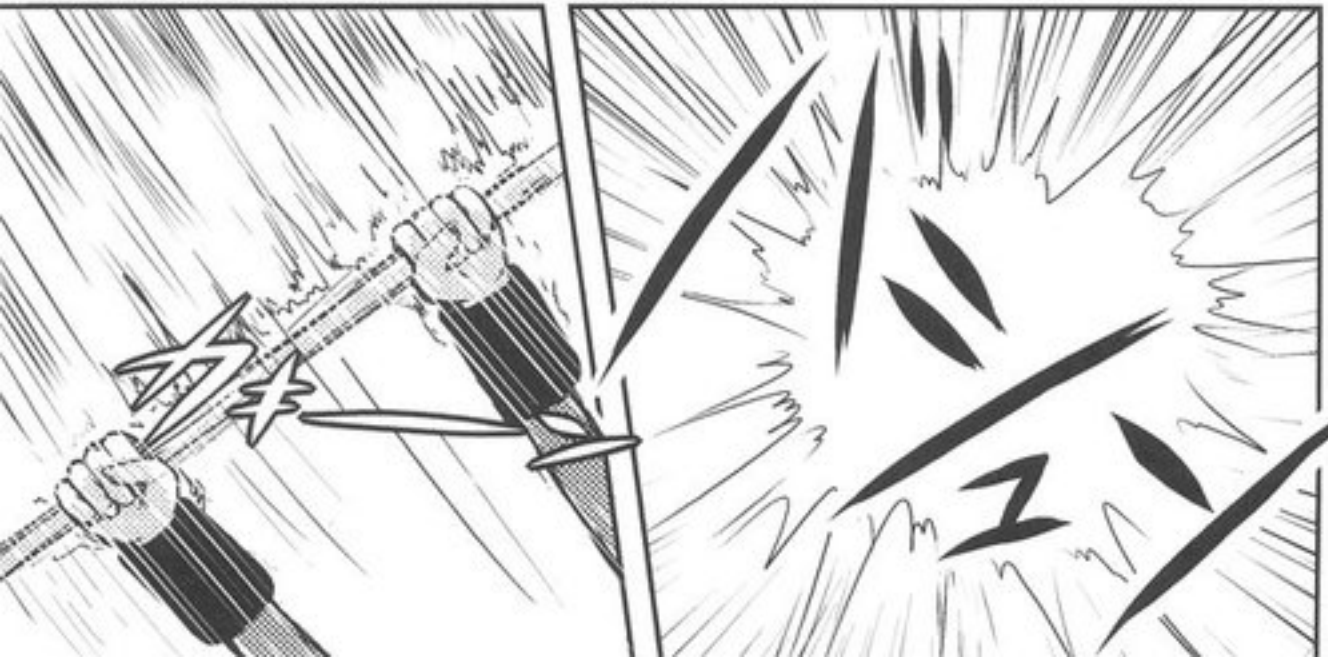


今日はもしかしたら
たくさんの人の心に
呪いが芽生えるような

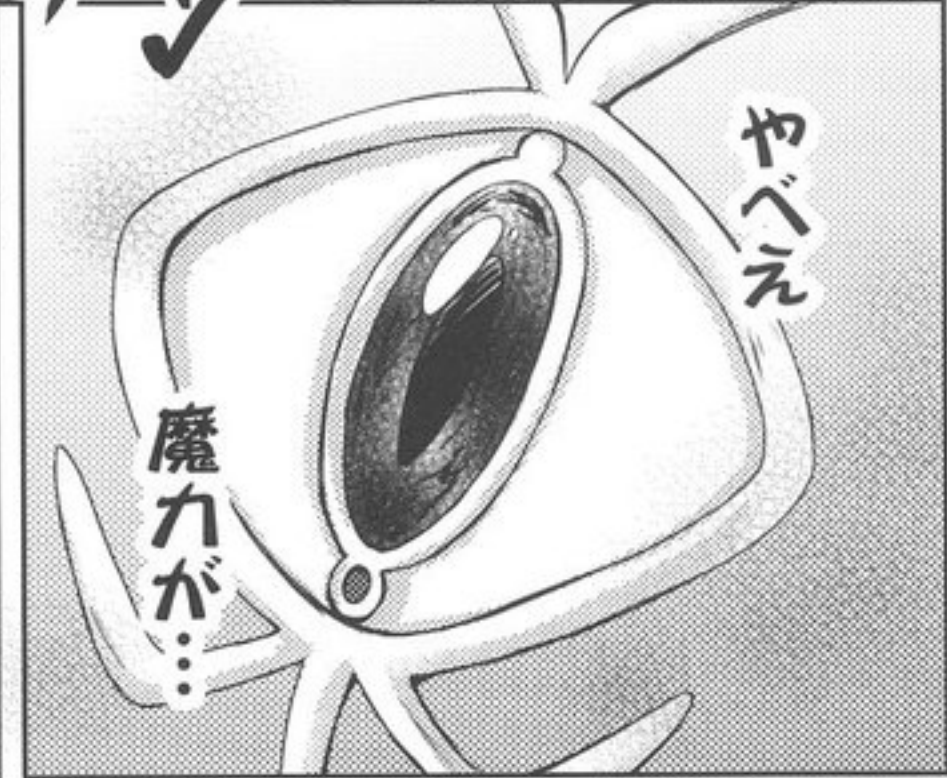
大きな事件が
あったのかもしれないね

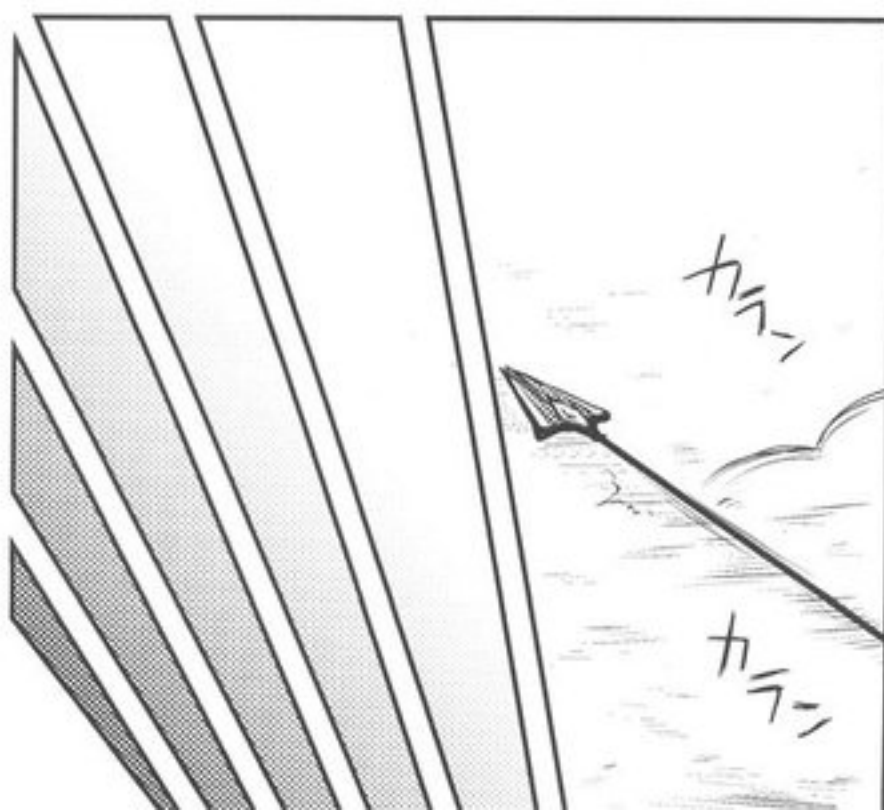
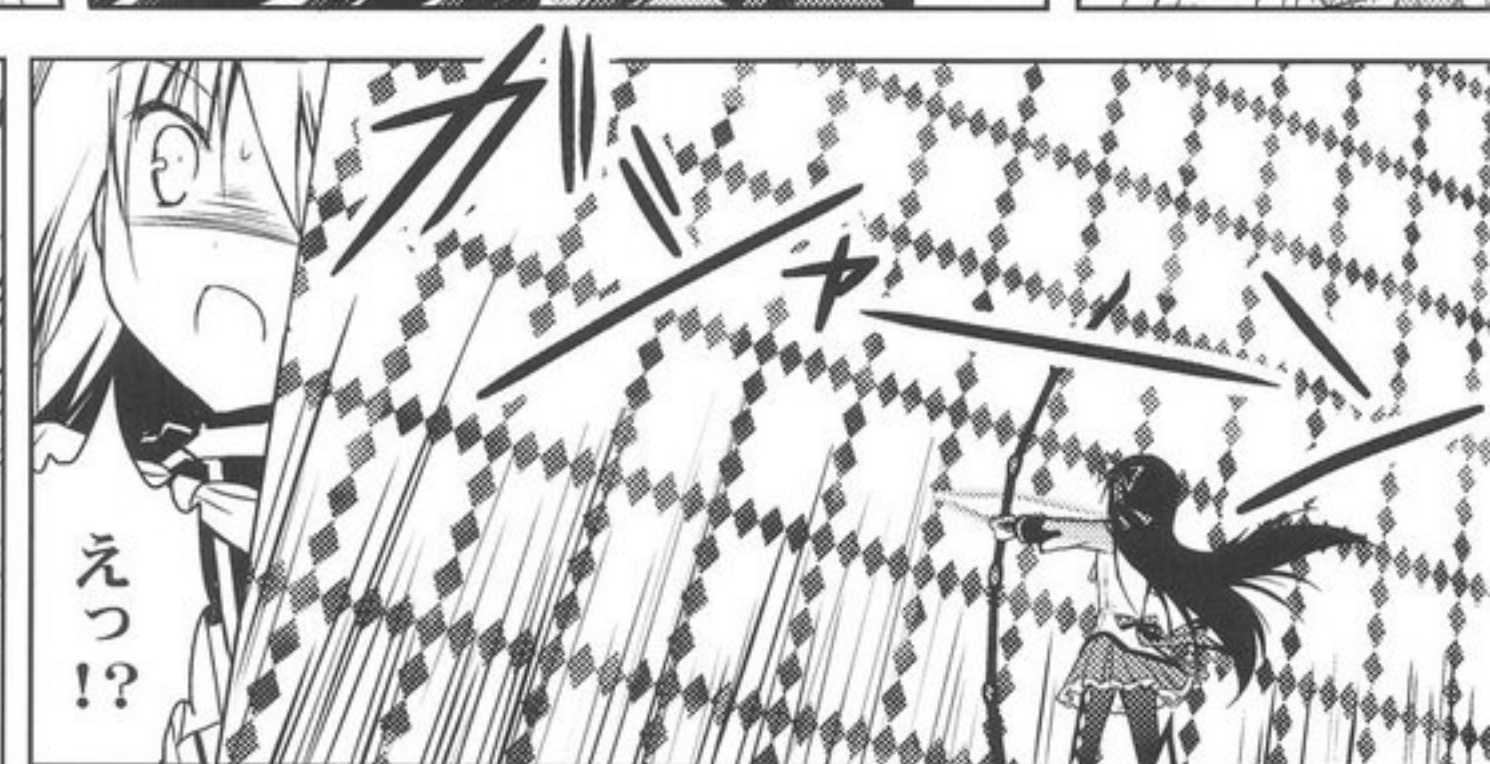


あ



おいおい
嘘だろ





あつたけえ

そうか…

この感覚…

やっぱ
死ぬんだろうな

なんだか…

あつたけえ
人生だったな

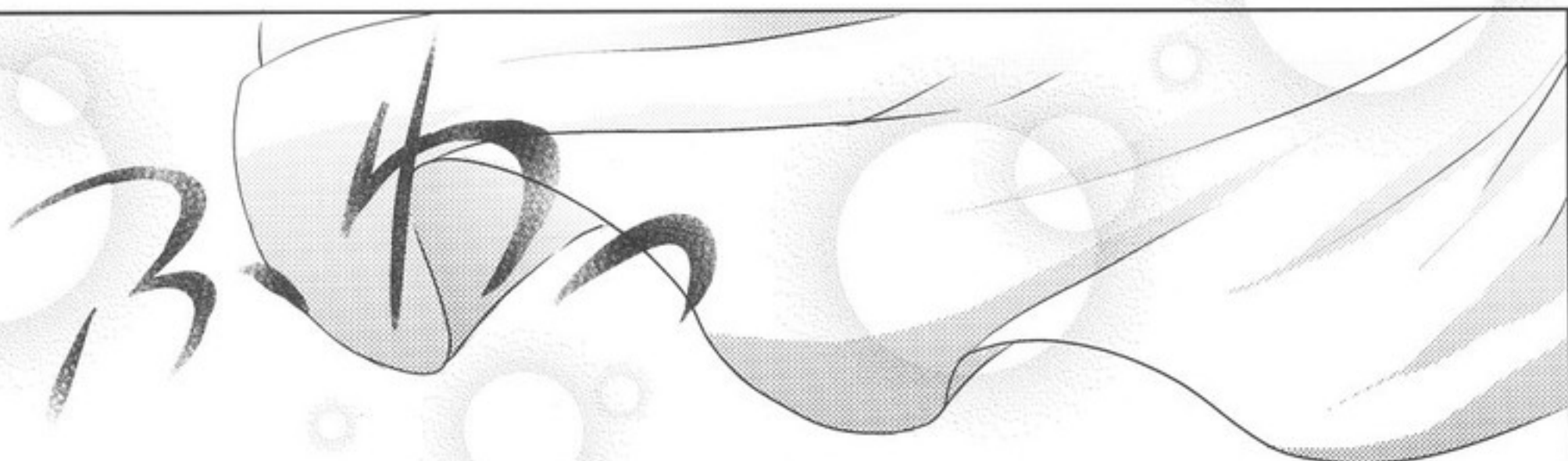


それも
まさかあたしが
あいつらふたりを
かばって死ぬなんてな

さやか

今から行くぜ

そつちに…





はっ



こんにちは

.....

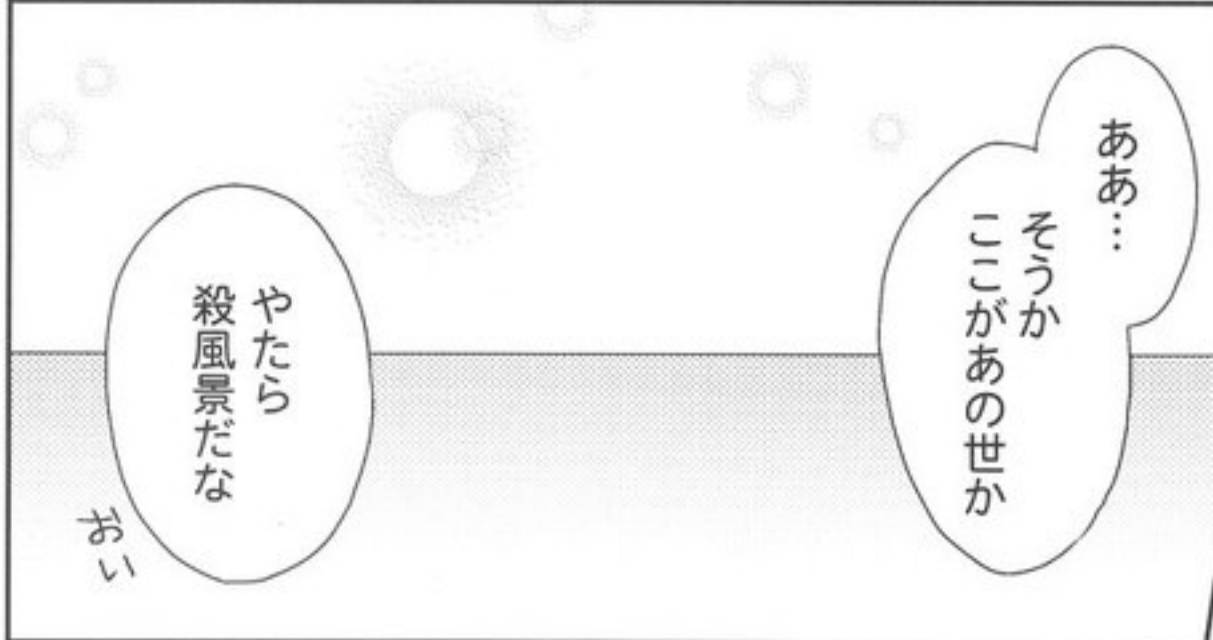


だ誰だ
てめえは

はっ



ここは...



ああ...

そうか
ここがああ世か

やたら
殺風景だな

おい



ううん
ここはまだ
ああ世じゃないよ

杏子ちゃんは
まだ
死んでない

なんだと?



てめえは?

わたし!?



じゃ
ここは?

うーん
言ってみれば
ああ世と
この世の間かな

なるほど...



どこにそんな
神がいんだよ

.....



わたしはえっと
神様かな？一応...

一応って...



あうー
知っている相手だと
なんかやりにくいなあ

で
神様よお



杏子ちゃんは
さっきの一撃で
ほぼ全ての魔力を
使っちゃったん
だけど

まだ
ほんのわずかに
魔力が残っててね



あたしは今
どうなってんだ？

なんでこんな
とこにいんだよ？

あえっとね



なっ!?



でもその少ない魔力は今
傷ついた体を自動的に
回復してて...

もうすぐ
尽きちゃうのね
魔力...



ま

別にこの世に
未練はねえか

ズーン

親も妹も死んだし
友達も死んじゃった

死んでもう
戦わなくてすむなら
それも有りだよな

お友達って
さやかちゃん？

!?

おまえ
さやかを
知っているのか？


うん

そうか


そうだよな

あいつもこっちに
いるんだよな


ならなおさら
向こうに戻る意味は
ほとんどねえな




でも
一緒に戦っていた
お友達のことはいいの？
悲しまない？



あいつらは
なんつうか
友達じゃないさ




3人とも目的が
魔獣を倒すことで
そのテリトリーが
たまたまかぶっただけ




狩場で出会えば
そのまま共闘する
ことはあるが

そこには
仲間意識なんて
ほとんどねえ




なもんだから
いざとなりや
みんな

自分の利益を
最優先して
仲間を捨てるくらい
のことはできる



あたしたちは
いわゆるそういう
仲なのさ



でも
今は違うよね



え？



だって杏子ちゃん
ふたりをかばって
こんな風になったんでしょ



あのふたりだって
同じだよ

杏子ちゃんが言うように
簡単に見捨てたりしない

どうだかな



まあ…
それはな…

フッ…



なんだって!



ううん…
今だってふたりとも
杏子ちゃんを救おうと
必死になってるもん



あ、あいつら

なにやってん
だよ?



もうないの?

今はあと6つだけ

集めてくるわ

お願い!

ふたりはね

自分の魔力も
ほとんどない中

コアを集めて
自分を回復させて

その魔力で杏子ちゃんを
回復させようとしている

ゴッ

あの戦場で
あたしのために
そんなことして

死ぬつもりか!?

あたしがこうなった
意味がねえじゃ
ねえかよ?

なあ
あんた…

頼むよ…

あたしをもう
あの世へ連れて
行ってくれないか

え?

このままじゃ
あいつらまで
死んじゃう

それでいいの？
杏子ちゃん

死んでしまったら
もう元の世界には
戻れないんだよ

必死にみんなも
がんばって
いるんだし

もう少し
仲間を信じて
待ってみても…

仲間を
信じて…か…

神様
あんたは残酷な
ことを言うよな

え？

信じて
待っている間に
あの世行きが
増えたら

あたしはどう責任
とればいいんだ…？

それは…

あたし自身はさ

戻って戦いの
毎日になるうが
別にそこは苦しめない

あいつらといることも
別に悪いことじゃねえ

だから戻れるなら
それはそれだが

開き直っちゃえば
案外楽しいもんだし

しがみついて
生きなくちゃ
いけねえほどの
意味はねえ

そのくらい
あたしにとっては

もう死ぬことと
生きることは
同じことなんだよ

戻るのが嫌だから
言ってるじゃねえよ

こんな考えで
いるような
あたしを

可能性も薄いのに
危険な目にあつてまで
必死になって助ける
ほどの意味がねえ
って話さ

ましてやムダ死になんて
させるようなことは

絶対あつちや
いけねえ

あいつらは
死の淵にいる
わけじゃなく
ちゃんと生きてんだ

あの世に行くのは
本来あるべき
迎えが来たときでいい

あたしを
助けるための
今ではなくな

あいつらに友情を
感じ始めたところで
死にしまうのは

多少残念な気が
しなくはねえが

そのためだけに
大バクチを打つ
くらいなら

あたしはさっさと
死にしまった
ほうが

あいつらの
ためのもなる
ってもんなのさ

ふーん

でも
あんたが今死ねば
ふたりは絶対助かる
わけじゃないよね？

え？



目を覚まして
加勢して
あげないわけ？



ささやか!?

私にはさこれ
どう見てもピンチに
見えるんだけどね



あ あいつらは
そんなに戦い
下手じゃねえよ

あ
そっか



つまりあんたは
戦いが下手
だったんだね

だから
死んだんだ

んだと!



ならあんた
もっと早く
死んじゃえば
良かったじゃん

クッ...



あ?

それとさ
生きることに
意味とかって
あるの？



意味がないから
もう生きないって
それなんか微妙

人ってさ
もともと意味あって
生まれてくるわけ
じゃないよね？

まだ大して
言うほど生きても
いないくせに

なに悟ったような
こと言ってるんだか

あなたの人生ってさ
まだまだこれからでしょ？

さやか！

おまえに
言われたく
ねえよ！

惚れた男の
ためって
死んでいく
ような奴に！

そ

私はさ
言ってみれば
ダメな例なわけ

だからいろいろ
言えるのよ

あのふたりがさ
あなたなんかを
起こすために
必死になってんだし

付き合っ
てあげれば
いいのよ

あのふたりだって
バカじゃないんだ



こっちにくることは
いつでも出来るんだし

逆に戻ることなんて
そうそう
出来ないことよ



本当に可能性が
なさそうなら
あきらめるわよ



しっかり生きて
楽しいこと
見つけてよね

私が出来なかった
いろんなこともさ



ソッ

ありがとよ
さやか



お前の
言うとおりで

そうだな…

たかだか十数年の
つまらねえ
人生だけなんて
あの世に
土産話もねえ

じゃああとは
問題はこっちだな



頼むぜ

もっと楽しんで
きてやるぜ



見てろよ
さやか



ふふん
しっかりと
見といて
あげるわ



マミー



でも...



へ平気よ...

しっかり

マミー!



でないよ

回復に
専念
しなさい

無理
しないで



まああの時とは
少しばかり勝手は
違うけど...



私なら大丈夫

こんな修羅場は
幾度となく
潜り抜けてきたわ



おい!

せっかく戻る気になっ
てんのになんか
もう少し頑張れよ!

くっそー!

普段なら
全然余裕なのに
何で今日に限って...

あたしら3人
五体満足なら
ぜってえこんな無様な
戦い方にはならねえのに



本当に杏子ちゃんが
戻りたいって思うなら

わたしなら
戻してあげること
出来るよ



なに!?

そのかわり
私からお願い
きいてもらって
いいかな?



杏子ちゃん

?



あのふたりにね

楽しい人生を
過ごさせてあげて
欲しいんだ



お願いって...
なにをだよ?

うん



友達に
なってあげて

そして3人
一緒に戦うの



なんだ?

それは
どういう?

杏子ちゃんが
言うように



3人いれば
どんなピンチだって
乗り越えられる
はずだから

そんなことが

フッ

そして長く
楽しく生きて

それがお願い

そんなの戻りてえと
思ったときから
決まってる

あたしなんかのために
死に物狂いにな
ってる奴らと

いつまでも他人で
いられるかよ

よかった〜

ほむらちゃんと
マミさんのこと
よろしく頼むね
杏子ちゃん

あ…ああ…

なあ
おまえさ
何でそんなに
親しげなんだ

前にもどこかで
あたしと会ったり…

ん？

そうだね…



否定は
しねえわけな

フフッ



それは
今度あったときに
教えてあげるじゃ
ダメかな？



簡単だよ
私が
体も魔力も全て
回復してあげる



なんでそれを
もっと早く…

ごめんね



じゃ…
はじめるね

どうやるんだ？



なるほどな

だからね



だけど
本当は助からない
かもしれない命を
運命に逆らってまで
救ってしまふのは
かなり特別なこと

杏子ちゃんの
本当の意思を尊重せず
勝手に帰したりしちゃ
だめだし

このことは
他の死んでいった
魔法少女のみんなには

絶対
ナイシヨだよ

もしかしたら
私が救ってきた
魔法少女たちの中に

本当はもっと
生きていたかった子が
いるかもしれないから

その子達に
怒られちゃう

私の本当の
役目ってね

呪いを溜め込んだ
ソウルジェムが
魔女へと変化する前に
浄化すること

杏子ちゃん

ひとりで苦しんできた
魔法少女達の死の瞬間に
立ち会って
笑顔のまま死なせてあげる
そんな概念でしかないの

これってすごい
奇跡なんだよ

だけど今
こうやって杏子ちゃんと
お話が出来た

そんな奇跡
ムダにしたら
もったいないよね

だから私も
力を貸しちゃうの

奇跡って
概念を通りこした
ものなんだから

そうか…

こいつが
円環の…



私並みの回復力だったら
とっくに魔力が尽きて
こっちに来るの確定してたわよ

のんびり迷っている
暇なんて
ないんだから

ああ

そういって
かよ



あんた
良かったね

回復力なくて

あんだと？



クツ

まさか
自分の弱点が
自分を救う
とはな



じゃあな
さやか…

パァアアアアア...



たくさん
楽しんできなよ

待ってるからさ

ああ



これで
良かったの？
まどか

うん



またな

魔法少女は
死んでからじゃないと
救われないなんて
そんなの絶対
おかしいもん

生きていれば
きっと楽しいことが
まだ見つかるはず

ねえ
さやかちゃん
さやかちゃんも
生き返りたかった？

ありがとう
さやかちゃん

このくらいしか
まどかに借り
返せないしね

ん？

いや

あたしなんて
何度繰り返しても
同じ道

戻ってもさ
どうせ未練がましさも
戻っちゃって
すぐこっちに逆戻りよ

そういう厄介者は
こっちにいるほうが
迷惑にならないでしょ

フッフツ

それを聞いて
安心したよ

お、なんだあ？
それはまどかも
あたしが厄介者だって
思ってるってことだな

え!?

もー
こいつめー

キヤー



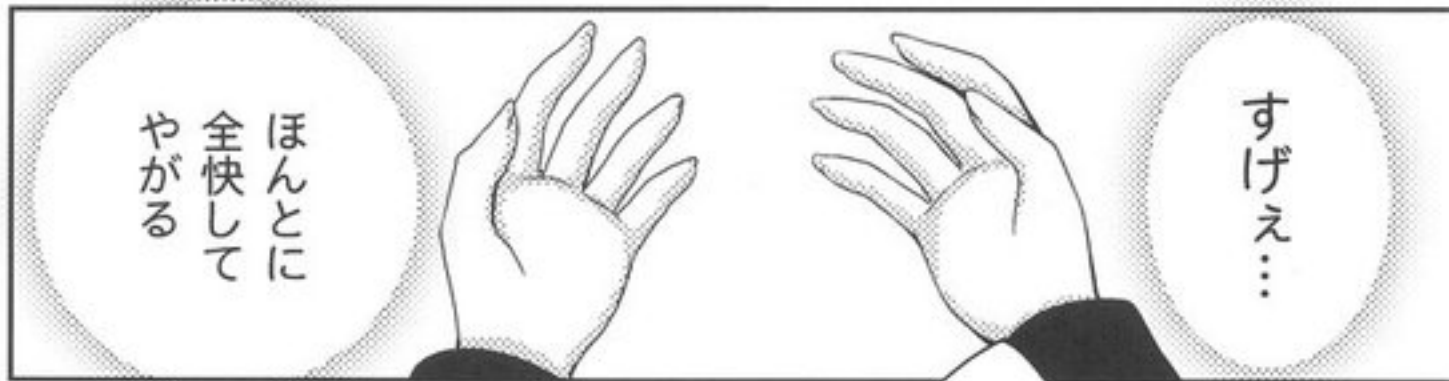
佐倉さん!?

わ



いったい
何が起こったの?

説明は後でするぜ



ほんとに
全快して
やがる

すげえ…



マミー!

一気に
蹴散らすぜ!

え?

で、でも…

って…

あれ? うそ!?
魔力が回復してる
傷も…

奇跡?



さあ行くぜ！
マミー！ほむらー！

ここからの
あたしはなあ

今までよりも
一味違うぜ！！



みなさん、はじめまして、こんにちは。
この本を手にとっていただき、ありがとうございます。
背景とお話を担当しています、コキリンです。
とはいえ、この本では背景はやっていません。
大部分が異世界と戦闘中の空間なので、特に背景の必要もなく
最後のほうで喫茶店も出てきますが、まあ、ナナセさんをお願いしました。
というわけで今回は、お話作りのメインでした。

もし山猫BOXの今までのまどか☆マジカ本を手にしてくれた方は、
お気づきと思いますが、お話は続いているように見えます。
ですが、今までの内容には触れていませんので、ここから読まれた方でも、
特に前の本が必要というものでもないと思います。
むしろ、前の本を読んできた方からすると、
ほんの少しだけ違和感がわいたりするかもしれませんね。
出来るだけ、どちらも無いようにと工夫はしているつもりですが、うーん、どうでしょうか。
ま、実際はどうなのかって聞かれましたら、はい、間違いなくつながっていると思います！

というわけで、お話の内容ですが、今回の主役は杏子です。
基本的に山猫BOXの本は、最初の一冊以外は、アニメ放送終了後の新世界を舞台にしています。
そのため主に活動するのは、マミ、ほむら、杏子の3人で、実は結構この3人を動かすのは楽しい。
ただ、私はまどかが一番好きなので、まどかは終わりたい。ということで。
今回も、ご他聞にもれず杏子が主役なのに、まどかがいっぱい出てくるこんな本になりました。
このお話は、夏に出した2冊のまどか☆マジカ本の時から、構想はありました。
友達がいなくて3人の中の、結束力を強めてあげたいというのが、私的な願いなのです。
今回は直接的な結末のお話とは違いますが、今はひとりひとり、現世に対する考え方を紐解いて
幸せな方向に進めてあげたいと思って話を考えています。それが今回の、杏子のお話でした。
言いたいことがありすぎて、限られたページの中に詰め込みすぎたかな？って感じは否めませんが
まあとりあえず、よくまとめたとは思っています。
これでもカットした部分は実はいっぱいありまして、本当はまだ、いっぱい語らせたい。
その部分も、いつか出せる時が来ればいいなあ、とは思っています。
とりあえず、次この3人のお話があるとすれば、今度は楽しいお話を作りたいと思います。
あと、これを全部絵にしてくれたナナセさんには感謝です。かなり大変だったと思います。

ところで、11月ごろに、劇場版のまどか☆マジカの発表がありましたね。
もう、今から待ち遠しくて仕方が無い。春ごろかな？ちょっと早いか…ってことは、夏ですか！
劇場版の内容は、新世界でのお話もあるらしいので、原作のまどか☆マジカでは
どんな風に新世界は描かれているのか、本当に楽しみです。3人が活躍するんですよね！（？）
今自分が描いているのは、主に12話からの予想の範囲でしかないのでからね。
描くには、情報が少なすぎますw

さて、またまた文章が長くなってきたので、そろそろ終わりにしようと思います。
今回も最後まで読んでいただきありがとうございました。

あとがきです。ナナセミオリです。最後まで読んで下さってありがとうございました！
3OPガッツリ漫画を描いて、このあとがきを描いてる今、燃え尽きちゃってかんじですw
今回もこの本を作ってる最中、相当な修羅場となってしまうましたが、
大変だけど、ずっと楽しかったですw原稿やっているとっていつもそうなんですよ〜！

うちのまどか☆マジカ本で、5人共出てくる漫画って、実は初めてでした。
そんなわけで表紙も賑やかに!!いつもとはちょっと違う雰囲気になり、気に入っています。
基本的にほむまどが大好きなのですが、杏さやも好きで、ずっとなにが描けたらいいな〜と
思っていたので、今回それが実現して楽しかったです。
そしてこうやってみんな描くと、ああやっぱりまどか☆マジカ大好きだな〜!!って思います。

そんなかんじでこの漫画を描いている最中、まどか☆マジカの映画化が発表されました。
それを知ったとき、もう本当に楽しかったですよー!! 本編後のお話が描かれたいのでしょうか!?
アニメ本編が毎回驚きの連続だったので、映画版でも自分が思ってる以上のストーリーが見られる
のではないかと、ものすごく期待しておりますよー。ワクワクワクワク…!
はやく映画公開日にならないかなあ…!興奮を抑えつつ、楽しみに待ちたいと思います(^^)

それでは、今回はこのへんで〜
2012年もまどかたちの同人誌を出していきたいと思っておりますので、来年もまたどうぞよろしくお願ひいたします♪

ナナセミオリ

「女神様からのお願い」

発行：山猫BOX(ナナセミオリ&コキリン)
発行日：2011.12.30.
印刷：ねこのしっぽ様

<http://www17.ocn.ne.jp/~yamaneko/yamanekobox@hotmail.com>
TwitterID: yamanekobox





わ

私もちよつと
死の淵まで
行ってくるわ

なっ!



ちよ
待て!

奇跡なんて
そう何度も
おきねえよ



さあ今すぐ
私を殺しなさい



いいのよ
私はまどかに
会えれば!

うわ!

ダメだこいつ



おいバカ
やめろ

誰かこいつを
止めてくれー



YAMANEKOBBOX2011